

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024年09月28日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	政治経済学部経済学科
留学(渡航)した時の学年	3年生
帰国年月日	2024年9月26日
明治大学卒業予定年月	2024年3月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ合衆国
留学先大学	カルフォルニア大学ロサンゼルス校(日本語名) University of California, Los Angeles(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語 / 英語
留学期間	2024年06月～2024年09月
留学先大学で在籍した学年	3年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 9 月下旬～12 月中旬 2 学期: 2 月上旬～3 月下旬 3 学期: 4 月下旬～6 月中旬 4 学期: 6 月下旬～9 月中旬
学生数	33,040
創立年	1919

留学費用

留学費用項目	現地通貨 (USD)	日本円	備考
授業料	\$ 6,750	1,141,699 円	
宿舍費	\$ 5,093	80,2712 円	ミールプラン 14/週を含む
食費	200	30,000 円	
図書費	10	1500 円	課題のための論文を購入
学用品費		円	
携帯・インターネット費	\$ 125	18,750 円	eSIM を購入
現地交通費	\$800	120,000 円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費	200	30,000 円	
医療費	0	0 円	
保険費		39,955 円	形態: 明大サポート
渡航旅費		200,000 円	
ビザ申請費		円	
雑費	400	60,000 円	
その他	400	600,00 円	
その他		円	
合計	13,978	2,2285,866 円	

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等: ルームメイトが大麻を吸っていたためフロントデスクの人に相談した)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

インターネットで調べて危なそうな地域はグーグルマップに登録をしておいた。

実際に現地で購入したキックスクーターが盗まれました。鍵をかけていても盗まれるので、自分の部屋で保管することをお勧めします。ちなみに自分の寮では、部屋で保管していても盗まれた人がいるので、大切なものは鍵をかけることをお勧めします。盗まれたときはとりあえず UCDP と呼ばれる UCLA の警察に行きましたが、当然失ったものは帰ってきませんでした。留学に行かれる方はお気を付けください。電話対応などが難しい場合はとりあえずルームメイトや友達に頼むのがベストです。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

たまに寮の Wi-Fi が使えないことがありましたが、おおむね問題はありませんでした。自分は eSIM を一か月ごとに購入して対応していましたが、もしかしらもっと安い方法があるかもしれないので、調べてみるのがおすすめです。ちなみに自分は「airalo」というものを使っていました。ご参考までに。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

不幸中の幸いで現金が大量にありました。UCLA の授業料支払いの後に授業の設定を変えると、一度返金されてもう一度支払う形になり、その時に大量に現金をもらったので、現金で困ることはありませんでした。しかし友達と遊びに行ったりするとき、大体現金で支払っていたので、現金を多く持って行って損することはないと思います。ただし寮内でも窃盗事件は起きるので、小さい鍵を持って行って、机に鍵をかけていくことをお勧めします。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

基本的に現地で購入できないものはないですが、ルームメイトが寝ているときに自分の机で勉強するためのデスクランプをあらかじめ持っていくと、そんな悩みもないのかと思います。あと寮の椅子がかたいのでクッションも持っていくとよいかもしれません。すべて現地で購入できますがやはり日本ほど安くはないです。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

渡航前に銀行で外国送金をしてもらいました。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
16 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input checked="" type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input checked="" type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
ESL: conversation and fluency	会話と流暢さ
科目設置学部・研究科	
履修期間	SessionA6
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、ディスカッション、劇、プレゼンテーション (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 150 分が週二 回
担当教授	Hugh Sam, J, M
授業内容	英語の発音やスラング、とにかくしゃべることになれるような授業だった
試験・課題等	プレゼンテーションとグループ劇を行った。それと現地の人との会話をまとめるものがあった。
感想を自由記入	友達を作るのにはとてもいい授業であった。全員が第二言語として学んでいるためうまく話せなくても、みんな待ってくれたり、わかってくれようとしてくれる。先生もこっちがうまくしゃべれなくても理解しようとしてくれる。授業が終わった後に先生と食事にけるほど仲良くなることができた。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Public speaking	プレゼン方法
科目設置学部・研究科	
履修期間	SessionC6
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、プレゼンテーション(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が2回
担当教授	Lencioni,S,P
授業内容	一週間に一回はプレゼンを行う。
試験・課題等	毎週のプレゼンテーション
感想を自由記入	毎週プレゼンを行うので、だいぶ自分の中でプレゼンを行うことに抵抗がなくなった。アメリカと日本とでプレゼンライドの作り方に少し違いがあるのではないかと感じることもあった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Public Affairs: Introduction to Cities and Planning	都市計画入門編
科目設置学部・研究科	
履修期間	SessionA6
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に125分が2回
担当教授	Manville, M.K.
授業内容	アメリカの都市がどのように発展してきたかを振り返りながら、生徒たちの地元にも共通するところがないかを考えていく
試験・課題等	毎授業ごとに小レポートがあり、200wordか500word以上の日がある。期末レポートは1500wordくらいだった気がする。
感想を自由記入	アメリカの人種差別についての歴史を知ることができて面白かった。周りの人は自分の地元の歴史や町の運営方法などを知っているなど、周りの人のレベルの高さに圧倒された。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Management:Special Topics in Management: Principles of Sports	アメリカのスポーツ経営方針について
科目設置学部・研究科	Management
履修期間	SessionC6
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、プレゼンテーション (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に180分が2回
担当教授	Francis, A.M.
授業内容	講義
試験・課題等	最後の授業にプレゼンテーション。自分の班のテーマはUCLAの部活動に広告をつけるとしたらどんな企業を使おうとするというものだった。
感想を自由記入	周りが推薦の人たちでネイティブだらけであり、むしろ留学生はマイナーだった。しかしながら先生が留学生に対して理解がある方だったので一応配慮はしてくれた。授業は毎回先生のおついででネットフリックスのスポーツ番組プロデューサーであったり、ドジャースのもとGMが来てくれるなど豪華であったが、現地の英語のスピードで授業が進んでいくためとても苦戦した。しかしペーパーテストではないため、聞き取れないからと言って直接的に苦労したことはないが、聞き取れないということが何よりも悔しい授業であった。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。(例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	語学スコア向上のための勉強
	4月～7月	同上
	8月～9月	同上
	10月～12月	同上
留学開始年	1月～3月	同上
	4月～7月	同上
	8月～9月	選考
	10月～12月	決定
留学/帰国年	1月～3月	留学準備(ビザ申請、授業料支払い、寮費、航空券購入等々)
	4月～7月	渡航、授業開始
	8月～9月	授業
	10月～12月	帰国

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生活全般等について、アドバイスを記入してください。

UCLA をきめた理由はブランド力があるからだ。UCLA という名前は留学を考える前からも知っており、トップユニバーシティに行くなら自分が名前を知っているところにしたいと思った。調べてみても素晴らしい生徒がいることが分かり挑戦するには十分な環境だと思った。他にも都市部であることから色々な経験ができるのではないかと思い UCLA に決めた。自分は田舎で過ごすことができないと思ったため、都市の大学を選んだが、田舎でアメリカらしさや海外らしさを堪能することも面白いと感じる三か月間だった。今回のサマーに参加してよかったことが多かったので、迷っている人はぜひ留学することをお勧めしたい。自分も不安で留学中も何回も挫折したが、そのたびに自分がここに来た理由を考え直していた。理由をしっかり決めてから留学すると自分みたいに苦しむことが少ないと思う。

LA という場所的に週末は遊びに行くことが多く、そういう点では楽しくサマーということで、友達と遊びに行くことが多かった。金銭的にはきつかったが、その分いろいろな経験を得ることができた。サマー時代の雰囲気がかもしたら遊ぶ雰囲気なのかもしれないが、目的をもっていないと惰性で三か月が終わってしまうかもしれないので、注意してください。